

Injury Alert (傷害速報)類似事例

加熱式タバコの誤飲による消化管異物 (No.121 金属片を内蔵した加熱式タバコの誤飲による消化管異物の類似事例 3)

事例	基本情報	年齢：0 歳 10 か月 性別：女児 体重：8.495kg 身長：64.8cm
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	発達歴：特記すべきことなし 既往歴：特になし
臨床診断名		タバコ誤飲によるニコチン中毒、金属片誤飲
医 療 費		入院 279,720 円
原因対象	対象名称	加熱式タバコ 金属片内蔵タバコスティック (図 1)
	入手経路 使用状況	父が使用している加熱式タバコ。ビニールの包装を剥がした状態の新品で、本児の手が届かないと思われる高さの棚の上に置かれていた。 2 ヶ月前にも同製品の誤飲があり、手の届くところにあった製品の箱から取り出し 1 本を口の中に入れていたが、すぐに取り出して、その後も元気だったため医療機関は受診しなかった。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	本児が居間に 1 人でいた。両親は自宅の別室にいて、目を離していた
	発生年月日	2022 年 4 月 X 日 (日) 午前 9 時 30 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	同日、午前 9 時以降両親は本児から目を離していたが、母が様子を見に行ったところ、本児が口の中にタバコスティックを入れていた。元々手の届かないと思われる棚の上にあったが、棚の上にある電化製品のコードを本児がひっぱり、そばにあったタバコスティックの箱が押されて落下してしまったと推測された。口の中以外にタバコは散乱しておらず、箱からなくなっていた本数から 2 本程度と推測された。母がすぐに本児の口からとり出し 15 分程度様子を見ていたが、顔色不良、嘔吐が出現したために救急要請し、医療機関を受診した。

医療機関受診時以降の治療経過 転帰	受診時のバイタルサインは体温 36.6 度、心拍数 136 回/分、収縮期血圧 124mmHg、呼吸数 28 回/分、SpO₂ : 99%（室内気）で、意識障害 GCS9 点（E3V3M5）、顔色不良、嘔吐、縮瞳を認めていた。両親の話より、タバコ誤飲後約 1 時間未満と考えられたので胃洗浄を行ったが、胃内容にタバコの葉は認められず、活性炭を注入した。腹部単純 X 線でタバコスティックに内蔵されていると思われる金属片が左下腹部に認められ、少なくとも 1 本誤飲したものと考えられた(図 2)。同日入院、経過観察したところ、約 3 時間後に意識清明となった。金属片が鋭利で腸管穿孔のリスクがあり、入院後連日便中への金属片の排泄確認と X 線撮影を行なった。便中への金属片の排泄は確認できなかったが、X+3 日に X 線検査で金属片の消失を確認され、合併症なども認めずに退院した。今回が 2 回目の同製品の誤飲であり、家族に同意を得て、こども家庭支援センターに連絡した。
キーワード	加熱式タバコ、異物誤飲、金属片、消化管異物

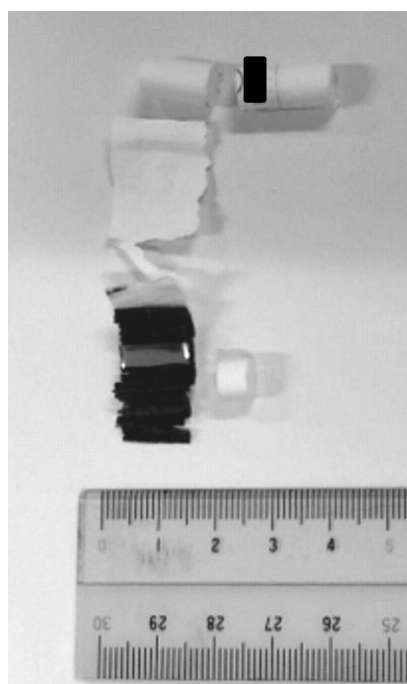


図 1 分解したタバコスティック（長さ 13mm の葉の中に 13mm×4mm の金属片が包まれていた）



図 2 腹部単純 X 線写真 タバコスティックに含有されている金属片あり。